

とくしま発

# 「アートの日」

## — 保育所と美術館の連携事業 —

開館25周年記念

人間表現を楽しむ25のとびら展

ワークショップ・協働プロジェクト報告書(抜粋)



徳島県立近代美術館

## 身体表現で楽しむ作品鑑賞プログラム開発 みて、かんじて、うごいて、うたって楽しむ鑑賞プログラム



### あゆみ

徳島県立近代美術館では、就学前の子どもたちとも、楽しく作品鑑賞できるように取り組んできました。美術館に来てくれた子どもに楽しんでもらうのはもちろん、保育所に出かけて所蔵作品を印刷した手作り掛け図で鑑賞したり、造形活動をしたりしています。

保育所と美術館の連携事業がスタートしたのは2012年春です。「アートの日」と名付けられたこの活動は、子どもたちとアートを出会わせたい、保育のなかで豊かな創造力を育みたいという保育者の強い思いに支えられ、拡がりをみせています。

2015年度「開館25周年記念 人間表現を楽しむ25のとびら展」では、「身体表現で楽しむ作品鑑賞プログラム」を開発する協働プロジェクトに取り組みました。自分の感じたことや思いを言葉で伝えることがむずかしい子ども、安心して楽しく鑑賞活動ができるようなプログラムをいっしょにつくろうと、「アートの日」で連携してきた保育者を中心に活動したものです。

「まねっこあそび」や「○○ちゃんの色ってどんな色？どんな動き？」など身体表現を活かしたプログラムができました。また、子どもの経験やつぶやきから身振りをまじえた「お約束そんぐ」や「近代美術館のうた」も生まれました。この報告書では歌ができるまでの保育者のレポートや楽譜を掲載しています。

### したこと

- ・プロダンサーのカタタチサトさんと当館の学芸員を講師とした研修会(2回)
- ・ミーティング(3回)、各保育所での実践
- ・お披露目(2016年1月7日-11日)、ワークショップ紹介展示(2月10日-14日)  
美術館ロビーで紹介パネルの展示とパソコン(子どもたちの姿や歌が見られる)を設置。

プログラム作成・協力：徳島市立城西保育所、徳島市立内町保育所、鳴門市中央保育所の子どもたちと保育者、徳島市立丈六保育所、徳島市立不動保育所、徳島市役所子ども施設課の保育者、佐那河内村立佐那河内保育所     アドバイザー：カタタチサト(ダンサー、高松市芸術士)

## ● 身体表現を使った鑑賞プログラム 保育者のレポート



色の名前は「にここいろ」



いろをみんなで表現したよ

### ○○ちゃんの色ってどんな色？どんな動き？・・・・・・・・・・徳島市立内町保育所

美術館の展示室で：

この色はどんな音かな？どんな動きかな？という質問に、<sup>あいおう</sup> 豊嘔を指して「黄色いからきらりん」と手をキラキラさせながら表現したり、イヴ・クラインの作品で「青い海みたいやから ゃぶーん」と表現したりしていた子どもたち。

保育所で：

「どんないろがすき？」「その色は、どんな名前かな？」「キラキラ色」「あったかい色」「どこどこ色」。子どもたちはいろんな思いをイメージして自分の色をつくり名前を付けました。自分たちの色ができると「○○ちゃんの色ってどんな色？」「こんな色」とみんなに見せながら「□□色♪」と発表します。そして、ウッドブロックに合わせて、友達と手を繋いでみたり、集まってみたり、一人で表現してみたりして子どもたちがその時々思い付いた自由な表現を楽しみました。



絵のなかの男の子になってみる



線や形や色を身体で表現しているよ

### まねっこあそび・・・・・・・・・・佐那河内村立佐那河内保育所

子どもたちは、まねっこあそびが大好きです。作品に表現されている人をまねてみることで身近に感じたり、その人の身になっていろいろなことを想像したりします。視線の先には何があるのか、周りの様子や気候は？など、想像は広がります。

## 近代美術館のうたができるまで 保育者のレポート

### 鳴門市中央保育所

徳島県立近代美術館の鑑賞プログラムで亀井先生と出会った子どもたち。「カメさん」という親しみやすい呼び名とありのままを認めてくれるその心地良さで、子どもたちはすぐさまカメさんを好きになったようでした。

作品を通して遊ぶ中で自分の感じたことを言葉や身体表現で表したり、一人一人が自己発揮し、たくさん笑顔がみえました。一つの作品をずっと見つめて、お気に入りの絵(クレー)を見つけた子もいました。



### その3ヶ月後、初めての美術館へ

美術館に行きたいというよりは、「カメさんに会いたい!」という思いの子どもたちと一緒に、身体表現プログラムに参加しました。不思議なものがいっぱい美術館に「あ〜ドキドキする〜」とつぶやき、緊張する姿もありました。

でも、芸術士カタタさんや友井先生と表現するうちにほぐれだし、コールドターの作品で子どもたちの心はウズウズ!!言葉では表現できない思いを体で表現しはじめました。美術館で色々な角度から五感を刺激され、感じて、表現して、認められて満足感いっぱいの子もたちでした。帰りのバスの中では「は〜疲れた〜でもまたいきたい!」と声をそろえる姿がみえました。



### その後、保育所で

25周年の図録を出しておくとして、1ページずつ「これ知ってる!」「これ変なの!」と友だちと見る子、ままごとでバンダナとエプロンを使い、カタタンに変身する子、コールドターの3本足になって色々な笑い方を表現する子、友だちとくっついて3本足で散歩する子など、子どもたちから様々な遊びが見えました。



その中で「びじゅつかん いきまっしょ」と鼻歌のように口ずさみ、それをうけて別の子が「みんなであそぼ」と何気なくはじまったメロディーがありました。「もっと歌って!」の保育士の声に「カンカンカンカン びじゅつかん!」と「クレちゃん(クレー)大好き」と様々なフレーズが生まれました。音階をつけて記録すると、すぐさま1フレーズ覚える子どもたち。すぐにクラスで共通のものとなっていきました。また、「次は美術館いったら何したい?」の問いかけに「(絵をみて)お話したい!」「3本足したい!」「カメさんに会う!」などのつぶやきもきかれました。



# 近代美術館のうた

作詞・作曲 鳴門市中央保育所の子どもたち(3、4、5歳児)

びじゅつかん いきましょ

みんなであそぼ ふしぎなものがいっぱいだ

きょうはなにみょう おはなししたい

## 1

美術館行きましたよ みんなで遊ぼ  
不思議なものがいっぱいだ 今日は何見よう  
おはなししたい  
まねっこ遊びおもしろい  
わくわく音が聞こえる  
何だかいいにおい  
五感がびーんびんびん 美術館  
かかん 近代美術館 行こ！

## 2

美術館行きましたよ みんなで遊ぼ  
不思議なものがいっぱいだ 今日は何見よう  
あっち どっち ピカソ  
抱っこはいいな ムーアちゃん  
クレーのクレヨン迷路  
はひふへ 笑うよ コールダー  
五感がびーんびんびん 美術館  
かかん 近代美術館 行こ！

まねっこあそび おもしろい わくわくおとが きこえる

G C C C

な ン だ か い い に お い ご か ん が

G G C

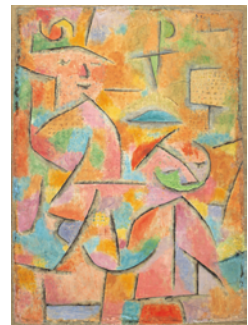
びーんびんびん びじゅつかん かんかんきんだい びじゅつかん いこ!

C G G C

### 徳島県立近代美術館の紹介

当館のコレクションは、三つの特徴があります。ピカソやクレーの作品で知られる近現代の人間表現、美しい風景画もある徳島ゆかりの美術、そして現代版画です。展示替えをしながら紹介しています。さまざまなテーマの特別展の見学も好評です。

美術館職員の案内で鑑賞を楽しむ他、アトリエでお絵描きなど制作も体験できますので、近代美術館までお問い合わせください。



パウル・クレー 〈子供と伯母〉  
1937年 徳島県立近代美術館蔵

## お約束そんぐ

作詞・作曲 徳島市立城西保育所ピアノ組の子どもたち(5歳児)



びじゅつかーんの おやくそく



まもりましよう こえはありのこえ



てはうしる おなかがすいてもがまんする

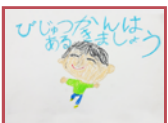


せんせいはなしを きく あるきましよう

### お約束そんぐができたわけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 徳島市立城西保育所

生活発表会で「アートの日」の劇をしたいと子どもたちから意見ができました。

「げきでうたもうたいたい!」「どんながいいかな」「おやくそくのうたは?」「それいーなあ」と、子ども同士で話す姿がみられました。自由あそびの中で子供たちが鼻歌でメロディーを考えて、美術館のお約束そんぐが生まれました。この歌詞とメロディーは、子どもたちがつくったものを保育者がそのまま聞きとったものです。



子どもたちが描いたお約束。美術館へ行く前には、みんなで確認合っています。

発行日 ● 2016年3月7日

編集 ● 徳島県立近代美術館

助成 ● 一般財団法人 地域創造

印刷 ● 星印刷株式会社

発行 ● 徳島県立近代美術館

770-8070

徳島市八万町向寺山

文化の森総合公園

TEL ● 088-668-1088

FAX ● 088-668-7198

© 2016 徳島県立近代美術館